

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演 習
科 目 名	体表解剖学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学期	後期	教室名	5F機能訓練室
担 当 教 員	辻 いづみ				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院、クリニックに勤務。医療安全管理学修士。認定理学療法士(学校教育)。				
《授業科目における学習内容》					
講義資料や教科書、骨標本を使用し、筋骨格を3次元的にイメージし、実際に骨を指標としながら筋を触察する。 講義の後は学生同士で実際に触察を行い、個々の筋の走行や形状を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
小テスト:40% 定期試験:40% 出欠・平常点:20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢、下肢・体幹 プロメテウス解剖学 コアアトラス 第4版					
《授業外における学習方法》					
教科書の写真やイラスト、骨模型をよく見ながら、骨や筋の形状をイメージできるようにする。 筋の起始・停止も言葉でだけではなく、上記の教材を見ながら覚え、作用を体を動かしたりイメージしながら覚える。 事前に教科書で触診の手順を予習しておく。					
《履修に当たっての留意点》					
触診の際は爪を切っておくこと。学生同士で実際に触察を行い、男女差、個人差を知ってもらいたい。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	体表解剖学・触察の重要性とその意味を述べることができる。	教科書 配布資料 骨模型	復習:なぜ触察をするのか言えるようにする。	
	各コマにおける授業予定	授業概要説明、触察についての説明、触察するための準備			
第2回	授業を通じての到達目標	下肢の骨指標の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント	
	各コマにおける授業予定	001腸骨稜、ヤコビー線 002上前・下前腸骨棘 007、008坐骨結節 009大転子 013膝蓋骨 017大腿骨内側・外側上顆			
第3回	授業を通じての到達目標	下肢の骨指標の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント	
	各コマにおける授業予定	021腓骨頭 022内果 023外果 036母趾中足骨頭 041第5中足骨粗面 043大腿動脈 044内側側副靱帯 045外側側副靱帯			
第4回	授業を通じての到達目標	下肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント	
	各コマにおける授業予定	059腸腰筋 061縫工筋 063大腿筋膜張筋 064、065中殿筋 066大殿筋			
第5回	授業を通じての到達目標	下肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント	
	各コマにおける授業予定	070長内転筋 073大腿直筋 074内側広筋 076外側広筋 079膝蓋上包			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	下肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	080半腱様筋 081半膜様筋 083大腿二頭筋長頭 085薄筋		
第7回	授業を通じての到達目標	下肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	089前脛骨筋 092腓腹筋 093ヒラメ筋 098短腓骨筋、長腓骨筋		
第8回	授業を通じての到達目標	体幹の骨指標、筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	105胸骨角、第2肋骨 114環椎横突起 115第6・7頸椎棘突起 119ヤコビー線、第1～5腰椎棘突起 120上後腸骨棘 122上位胸椎棘突起 125第7胸椎棘突起 126腹直筋、外腹斜筋、内腹斜筋		
第9回	授業を通じての到達目標	上肢の骨指標の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	001肩甲棘、肩峰、棘三角 002内側縁、下角、上角 003外側縁、関節下結節 005烏口突起 006鎖骨体、鎖骨肩峰端、肩鎖関節 007胸鎖関節 008結節間溝 009小結節 010大結節		
第10回	授業を通じての到達目標	上肢の骨指標の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	011内側上顆、外側上顆 012橈骨頭、上腕骨小頭 013肘頭窩、上腕骨滑車 014尺骨神経溝 015腕橈関節、近位橈尺関節 016橈骨茎状突起 017リスター結節 018肘頭、腕尺関節 019尺骨頭、遠位橈尺関節 020尺骨茎状突起 021豆状骨 028中手骨(底・体・頭)		
第11回	授業を通じての到達目標	上肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	042、043三角筋前部線維 044、045三角筋中部線維 046、047三角筋後部線維 048大胸筋		
第12回	授業を通じての到達目標	上肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	049棘上筋 051棘下筋、小円筋 053大円筋 054、055肩甲下筋 056広背筋		
第13回	授業を通じての到達目標	上肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	058僧帽筋上部線維 059僧帽筋中部線維 060僧帽筋下部線維 062肩甲挙筋 064小胸筋		
第14回	授業を通じての到達目標	上肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	066上腕二頭筋長頭 067上腕二頭筋短頭 069上腕筋 070腕橈骨筋 071、072上腕三頭筋長頭 073上腕三頭筋外側頭 074上腕三頭筋内側頭 075橈骨神経溝		
第15回	授業を通じての到達目標	上肢筋の触診ができるようになる。	教科書 骨模型 ペン	予習:触診部位の解剖的位置の確認 復習:触診のポイント
	各コマにおける授業予定	【前腕回内、手関節掌屈の外在筋】①円回内筋②橈側手根屈筋③長掌筋 ④浅指屈筋⑤尺側手根屈筋 【前腕回外、手関節背屈の外在筋】①長橈側手根伸筋②短橈側手根伸筋 ③総指伸筋④小指伸筋⑤尺側手根屈筋		